

【診療の補助内容】
人工呼吸器からの離脱（2）自発呼吸トライアル（SBT）

吸入酸素濃度 50%以下の設定で T ピース又は CPAP $\leq 5 \text{ cm H}_2\text{O}$
(PS $\leq 5 \text{ cm H}_2\text{O}$) 30 分間継続し、以下の基準で評価する（120 分
上）は継続しない。



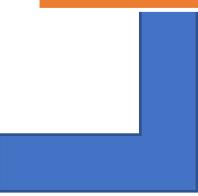
主治医へ直接連絡し、
指示を受ける

【特定行為を行うときに確認すべき事項】
(自発トライアルの成功基準)

- 呼吸数 < 30 回/分
- 開始前と比べて明らかな低下がない
- ($\text{SpO}_2 \geq 94\%$ 、 $\text{PaO}_2 \geq 70 \text{ mmHg}$)
- 心拍数 $< 140 \text{ bpm}$ 、新たな不整脈や心筋虚血の兆候を認めない
- 過度の血圧上昇を認めない
- 以下の呼吸窮迫兆候を認めない（SBT 前と比較）
 - 1.呼吸補助筋の過剰な使用
 - 2.シーソー呼吸（奇異性呼吸）
 - 3.冷汗
 - 4.重度の呼吸困難感、不安感、不穏状態

→ SBT 成功の場合、担当医師に患者の状態を報告し、抜管を検討する。

1 項目でも□あり



【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】
主治医もしくは当該科の医師へ報告



【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 主治医もしくは当該科の医師へ報告
2. 診療記録への記載